

小児



北病院
リハビリテーション科
言語聴覚士
浜崎 京美

コーナー

言語訓練卒業 第1号



小児言語訓練が開設され約1年。徐々に患者さまも増え、今年夏には訓練卒業となったお子さまもみえ、寂しさもありますが嬉しいお別れでした。

小児の言語訓練の対象となるのは、ことばの遅れ・認知面の遅れ・こうおんしょうがい構音障害・きつおん吃音などがあります。その中で構音障害は他の症状に比べて短期間で訓練効果が出やすい症状です(例:「サカナ」をシャカナ、「ライオン」をヤイオンと言い間違えるなど)。

4歳以降で正しく言える時と間違える時が混在している場合は、発達とともに自然に改善していくことが多いです。しかし、間違いが固定されている場合は言語訓練を受けることをお勧めします。

